

2024 年度事業報告書

一般社団法人東京都バスケットボール協会
専務理事 針生淳男

<方針>

(公財)日本バスケットボール協会の理念「バスケットボールで日本を元気にします」と「バスケットボールファミリー安心安全保護 7 項目宣言」を受け、(一社)東京都バスケットボール協会も継続的な組織活性化・充実を目指した積極的な取り組みを推進していく！

①クリーンバスケット、②リスペクト・フェアプレー、③子供の主体性尊重、④指導者の資質向上
⑤保護者との連携、⑥安全安心な環境整備、⑦差別をなくす
バスケットボールを楽しむ人が増えるよう、安全な競技環境を構築していく

<活動状況と結果>

1. スポーツ界の透明性・公平・公正性の向上に向けた活動の推進

理事全員でインテグリティ教育を受講するなど、内部からその必要性を広める事業を展開した。

2. 競技力向上と競技者の拡大(競技スポーツと生涯スポーツ)

- ① U15 部会傘下の組織として、U15 クラブ連盟を 2024 年 10 月 25 日に設立。25 年度より大会開催を可能とし、ガバナンスの向上含めた新しい競技力向上の基盤を構築した
- ② 国スポ本大会に、少年男子、成年女子の 2 カテゴリーが出場。2 年連続の 4 カテゴリー出場はなかったが、強化事業成果が一定レベルで浸透している状況となっている

3. 人材育成事業(指導者・審判関連)

各部会・委員会との意見交換を進めるなかで、都協会内部の人材育成に必要な「取り組みの観点」を得られたことから、今後その具体的な施策を実行していく。

4. 財政の健全化

2 年連続赤字となり、3 年連続赤字とならないように対応進める中で着地見込みの精査を行った過程で 3 年連続の赤字可能性が判明。急遽 1 月 28 日理事会にて「財務緊急事態宣言」を発出。

残り年度内での部会／委員会での支出削減を指示。さらに、スポンサー収入の増収活動を進めたことで、何とか黒字を確保することができた。

来年度以降、4 半期単位の会計監査の実施等で、財務状況の予実管理を強化していく。

以上